



SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2012～2013年度 RI会長 田中 作次
RIテーマ Peace Through Service 奉仕を通じて平和を

クラブテーマ「チ・カラを出そう」会長 太田政人

副会長 山本良一 幹事 石井司人

第1122回 例会 2013.1.25(金)晴

司会:石井和郎君 指揮:久保栄子君
ロータリーソング「それでこそロータリー」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央町ビル2F
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

例会場 ブケ東海三島
TEL.055-984-0120
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

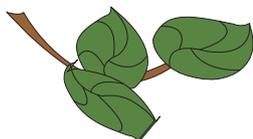
会長挨拶

会長 太田政人君

皆さんこんにちは、アルジェリアでの悲惨な人質事件で最後まで安否のわからなかった方が歯牙鑑定が一助となり身元確認されました、亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたします。



先ほど東日本大震災復興支援委員会が大槌町に図書購入資金として60万円を寄付しました、本日その購入図書のリストと写真が送られてきました、回覧いたします。私事で恐縮ですが、今月23日で96歳になりました母が介護老人保健施設に入居いたしました。その際「意向確認書」に署名捺印を求められました、その内容とは入居者の体調が急変したときの医療に対してどのような考えを持っているかとのことです、①延命処置(人工呼吸器など)希望する。②延命処置を希望しない。どちらかを選択するよう求められました、普段は漠然と延命処置は必要ないと思っていましたがいろいろ考えさせられました。折しも、影響力のある人が社会保障制度改革国民会議で終末期医療の患者を「チューブの人間」と表現し「私はそうゆう必要はない、さっさと死ぬんだから」と書いて渡してある、死にたいと思っで生かされるのはかなわない。政府の金でやってもらわなうてますます寝覚めが悪い。さっさと死ぬるようにしてもらわないと解決しない」と述べましたがその後、「私の個人的なことを申し上げた。終末医療のあるべき姿について申し上げたものではない」と釈明し発言を撤回しましたが、的を射た発言と私は思います、ただ表現する方法が拙かったと。皆さんはどう思いますでしょうか？普段から家族の方とよく話し合ってみてはいかがでしょうか。



ようこそせせらぎ三島
ロータリークラブへ

濱田清明君(沼津柿田川RC)
西島昭男君(沼津北RC)

出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	20/32	62.50%	22/32	68.75%
今回	24/32	75.00%	会員総数	34名

欠席者

あなたが見えなくて残念でした。

片野君、小島君、杉山(順)君、杉山(隆)君、服部君、望月君、山本(章)君、米山君

おめでとう

入会記念日

1月5日 山本良一君
1月25日 久保栄子君
1月27日 遠藤修弘君

今日の料理



四大奉仕中間報告

クラブ奉仕委員会

委員長 山本良一君

太田年度の上半期も予定された事業は各委員会により実施されました。特に親睦委員会につきましては夏の家族例会としてスカイツリーの見学、クリスマス家族例会、新年親睦例会と多くの活動を実施されクラブの懇親と親睦が図られました。親睦の基本となります出席につきましては、出席率の高さがクラブの活動に比例すると言われます、メイクアップを積極的に行いクラブの出席率を上げていきましょう。年度後半に向け各委員会の活躍をお願いいたします。

職業奉仕委員会

委員長 宮澤正昭君

今年度は、会員の皆様の職業について、卓話の中でセールス、アピール等していただくようお願いをしました。中々思うようにはいってないがまずは、足元を固めるようにしていきたいと思っております。もっと卓話やスマイル等を利用していただき、今後の奉仕活動に繋げていきたいと思っております。

皆様のご協力をお願いします。

社会奉仕委員会

委員長 小林 勝君

当クラブ20周年記念事業として、実施されています「3年後の自分への手紙」も4年目となりました。3年前に、三島市、函南町の小学校5年生に「3年後の自分へ」というタイトルで手紙を書いてもらい、中学2年生になった、今年度夏休みに本人に送り返し、読んでもらいアンケートを送り返してもらったわけです。活動内容は、下記の通りです。

6/4 三島市及び函南町教育委員会に、ご協力の挨拶に行きました。

6/21 三島市、函南町の校長会幹事校長である、三島市立南中学校、函南町立丹那小学校の各校長先生に、事業の説明とご協力をお願いに行き参りました。

7/3 三島市、函南町の教育委員会に今年度分の原稿用紙及び返信用封筒、実施要項など関係書類を持参しました。

7/20 第3例会卓話の時間に、会員の皆様に協力して頂き、手紙が入った封筒とアンケート用紙をセロハン袋に入れ、三島市は郵便局、函南町は、望月新聞堂様の宅配システムを使い送りました。

* 返送及び反響

三島市及び函南町の児童数は、1400名に対して回収した手紙は、約1100通であります。住所変更等で、約70通の手紙が本人に届きませんでした。アンケートの回収数は100通でした。

国際奉仕委員会

委員長 山口雅弘君

国際奉仕委員会の活動の要は、昨年で10回を数えたタイスリウォンRCと合同事業である放置自転車の贈呈です。本年度は昨年11月に実施致しました。参加者のみならず、すべての会員の皆様のご支援とご協力により大成功に終わることができました。感謝申し上げます。毎年11月に実施しておりますが、実際には準備段階として7月から現地とメールや電話により計画を詰めてまいりました。今年度は、チャンマイ柴田総領事から、前日に領事館に招かれ、また、贈呈式典当日も参加いただきました。総領事からも活動を評価され「タイの子供たちの為にも事業を継続してほしい。」と、要請を受けました。予算上の問題も新たに発生いたしました。次年度から新しくなる「地区補助金制度」を活用し、参加者の負担を減らし、今後も、更に充実した支援活動が出来ればと思います。

親睦委員会

岡 良森君

この半年間親睦委員会は、夏の家族例会、クリスマス家族例会、新年鏡開き例会を運営してきました。いずれの行事も各担当のご協力により順調に行われたと思っております。

親睦委員会の運営の評価は何か、その答えは出席率にあると考えています。良い企画を立案して実行することで参加者が増え、会員増強にも結び付けばと思っております。その意味では、早い段階から取り組んで実施した夏の家族会“ブームに乗っかれ、スカイツリーツアー”が成功裡に終わったことは大変良かったと思っております。残りの年度内には春の家族会、さよなら例会がありますので良いものを提供したいと考えております。

